

景観地区・高度地区の活用(石川県金沢市)

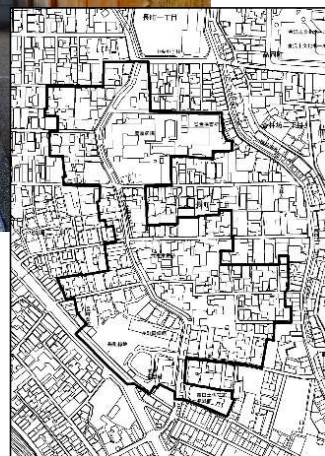
- 金沢市は、1960年代後半から景観・歴史まちづくりに取組む。歴史的風致維持向上計画、景観計画はもとより、地域の歴史や魅力・個性を活かし、様々な取組を展開している。
- 高度地区や景観地区など都市計画と連動した規制・誘導手法も活用している。

長町景観地区

- ・平成26年7月1日に長町武家屋敷跡周辺地区を、北陸初の景観地区(約7.7ha)に指定。
- ・藩政期から残る大野庄用水沿いの街路や地区内の街路網、町割・地割を背景とした街並みと、庭や用水等が一体となった水と緑が調和した景観を保全・継承を目指す。



長町景観地区の伝統的な街並み



長町景観地区の区域図

高度地区を活用した眺望景観の保全

- ・平成17年の高度地区の決定以降も適宜見直しを実施。
- ・平成24年から、景観シミュレーション等を行いながら城(金沢城公園)からの眺めに配慮した最高高さ制限の見直しを検討し、平成27年・平成28年に高さ制限を変更した。



金沢城公園(三の丸)からの眺望

出典:「歴史まちづくり法について(国交省)」

